

掘りだそう、自然の力。

Calbee

」 カルビーのさまざまな情報は こちらから

https://www.calbee.co.jp/



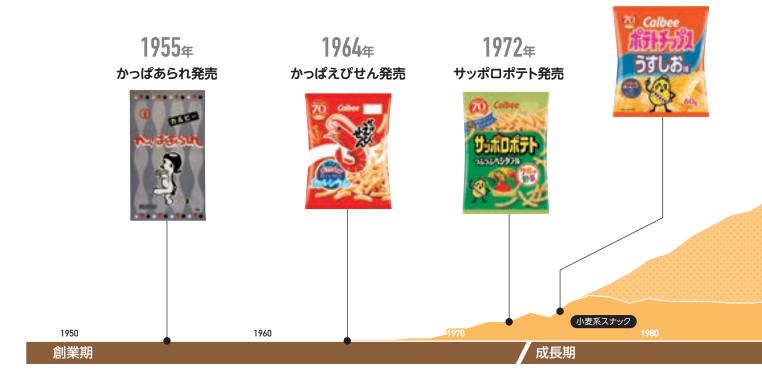


70世特集

カルビーグループのあゆみ

1949年に創立した当社は、2019年に70周年を迎えました。
これまで歩んできた道のりは、まさにイノベーションの連続でした。
すべてのイノベーションの根底にあるのは、"自然の恵みを大切に活かし、
おいしさと楽しさを創造して、人々の健やかなくらしに貢献します。"という、
カルビーの企業理念そのものです。

1975_年 ポテトチップス発売



カルビー70年の歴史を振り返って

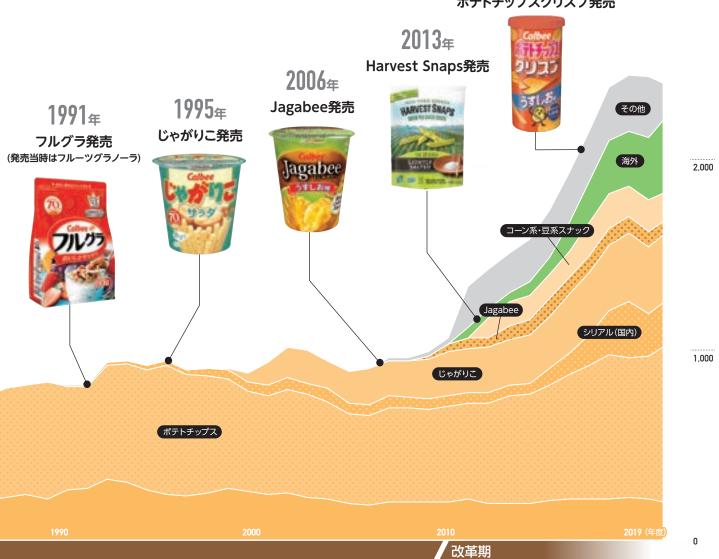
カルビーの歴史は1949年松尾糧食工業(株)の設立から始まります。1955年にカルシウムの「カル」と ビタミンB₁の「ビー」を組み合わせたカルビー製菓(株)に社名を変更しました。

1964年にかっぱえびせんを発売し、1970年代にはサッポロポテト・ポテトチップスとヒット商品にも恵まれ、多くの方に愛されるスナックメーカーに成長しました。1980年以降、原材料の質と量を確保するための子会社カルビーポテト(株)の設立や、鮮度を保つためのアルミ蒸着フィルムの導入、シリアル事業への参入などに挑戦しました。また、じゃがりこやフルグラなど、社会的背景や変化するニーズを捉え新しい価値を創造してきました。

2011年3月11日東証一部上場を果たし、海外事業展開も本格化させてまいりました。

売上高(単位:億円) 3,000

2016年 ポテトチップスクリスプ発売



ファンの皆様への70年の感謝と「Next Calbee」

カルビー創立からの歴史を支えて下さった多くのファンの皆様に深く御礼申し上げます。日頃よりカルビー商品をご愛顧いただいている株主の皆様に感謝を込めて、この70年の歴史を代表する商品をお届けします。**

このたび、2030年に向けた長期ビジョン「Next Calbee 掘りだそう、自然の力。食の未来をつくりだす。」を策定しました。このビジョンの実現に向け、中期経営計画の下、カルビーグループはさらに成長を進めてまいります。これまでと違う新たな素材・新たな食シーンへ挑戦し、「Next Calbee」に向けて、次の世界の常識をつくるために、「食」に変革を起こしてまいります。

これからもカルビーグループをよろしくお願い申し上げます。

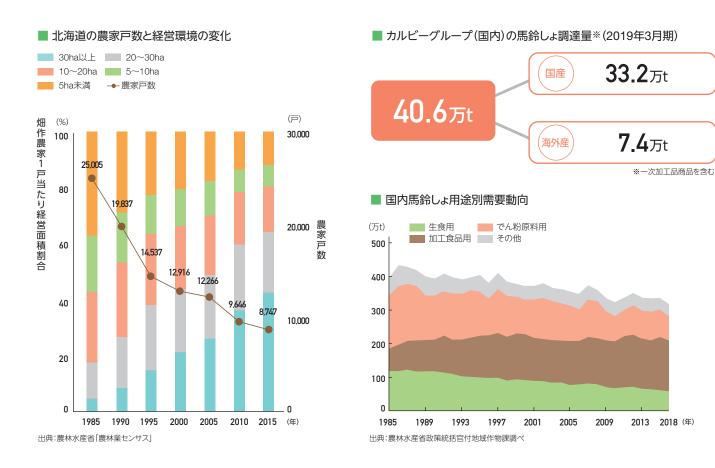
※ 2019年9月末時点の株主名簿に基づき、100株以上所有の個人株主様に送付させていただきます。



調達~サステナブルな馬鈴しょ調達~

都市部への人口流出や高齢化に伴う離農などにより、日本における農家戸数は減少を続け、1戸あたりの農地面積は大規模化しています。馬鈴しょ農家も例外ではなく、面積あたりの収穫量アップや作業の効率化・省人化が課題であり、これに対してカルビーグループではさまざまな施策を行っています。

今後はこの馬鈴しょ事業にて培った関連技術や専門性を活用し、農業に関わるコンサルティングや農作業代行など、 サービス型の新しい収益事業モデルを創出していきます。また、これらの技術と専門性は馬鈴しょ以外にも応用が 可能であり、馬鈴しょに続く作物の事業化にも挑戦していきます。



Calbee Report (統合報告書)を作成しました

カルビーグループの強みや戦略、1年間の事業活動などをご報告する [Calbee Report]を発行しております。詳しくは以下のURLからご覧ください。



Calbee Report 2019

https://www.calbee.co.jp/csr/download.php







栽培技術のコンサルティング

カルビーポテトは、これまでも馬鈴しょの調達について、 生産者、行政、大学、同業のメーカーなどと密なネット ワークを構築し、さまざまな取組みをしてきました。 今後も最新技術の導入による馬鈴しょ生産の省人化、省 力化および生産性向上を目指し、契約生産者とフィール ドマン(馬鈴しょのスペシャリスト)との関係を深め、馬 鈴しょの栽培設計から収穫・輸送までの生産工程につい てコンサルティングを実施していきます。



フィールドマンによる育成サポート

ITによる栽培サポート



GPSを使った植付作業

熟練した個々の生産者の知識と技能に支えられてきた馬 鈴しょ栽培に、ITを取り入れることにより、省人化、省力化 だけでなく、近年変化の激しい気象環境へも最適な対応 をとることが可能になると考えています。カルビーグ ループでは、ほ場管理にこれらの技術を導入するととも に、契約生産者へも導入の有効性の理解を図り、技術の推 進を行います。

コンサルティングとIT利用により、 馬鈴しょ栽培・調達体制を進化さ せるとともに、サービス型の事業 モデルを構築していきます。



人工衛星とITを使ったほ場管理

Calbee · News



https://www.calbee.co.jp/lovejapan/



「♥ JPN(ラブ ジャパン)」プロジェクト 2019 地元の味を愛すれば、 日本がもっと好きになる。



山形岩

商品発表会見の様子



第2 弹

2019年11月18日 発売







山泉...

47都道府県の「地元ならではの味」を開発する「♥ JPN(ラブ ジャパン)」プロジェクト。3年目となる2019年度も、3回(第1弾・第2弾・第3弾)に分けて47都道府県の味のポテトチップスを順次発売しています。

2019年度は「地元を愛するお客様」「地方自治体」「カルビー」の3者で商品づくりをしました。地元の強み(素材・名産品・郷土愛・素材づくりの技術力)と、カルビーの強み(知名度・販売促進力・商品企画力・開発力)を活かし、地元を愛する人と共創することでヒット商品を生み出していきます。

カルビーはお菓子を通じて地域で有名な名産品や知る人ぞ知る味などを全国に紹介することで、地域の食文化の発展を支え、豊かな生活の形成に貢献します。

♥ JPN (ラブ ジャパン)と

日本のいろとりどりの おいしさを ポテトチップスとしてお届けし、 地元をそして日本全体を 元気にしていく 企画です。

「ポテトチップス うすしお味」リニューアル

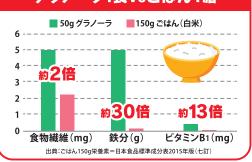
貴景勝関 九月場所でプロモーション

6月から「塩ひとつまみでひきたつおいしさ」にリニューアルした [ポテトチップス うすしお味]。メッセンジャーに貴景勝関を起用し、 魅力を発信しています。

大相撲九月場所では、カルビーから贈呈した「真っ向」の化粧まわしをつけて 土俵入りをしていただきました。また、貴景勝関の取組には毎日懸賞をかけ応援いたしました。 両国国技館の外では、「ポテトチップス うすしお味」のサンプリングも実施し、新しく なった[ポテトチップス うすしお味]をたくさんの方に知っていただきました。



グラノーラ1食vsごはん1膳



新しい「グラノーラの世界」の扉を開く

穀物の香ばしさを最大限引き出した 甘くない*『グラノーラ』登場

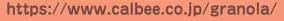
「フルグラ」に続く新たなシリアルブランドとして、プレーンタイプの "甘くない"グラノーラを発売しました。

"甘くない" "香ばしい" から、いつもの牛乳やヨーグルトとの組み合わせ だけではなく、さまざまな食べ方を楽しめます。

甘さを調整したい方は「フルグラ」とミックス。いろいろ楽しみたい方は 簡単アレンジでお料理にも。スープやお味噌汁にちょい足しで満足度UP、 ごはんなどにおきかえてヘルシー度UP、カレーとも相性抜群です。

※当社「フルグラ」比較

アレンジ自在!簡単メニューもこちらからご覧いただけます!







こだわりの北海道フライドポテトシリーズ発売

馬鈴しょのすべてに取り組むカルビーポテト㈱より、異なる形状にカットし、「ほく ほく」「カリカリ」「サクッサクッ」とさまざまな食感を楽しめるフライドポテトシリーズ 3品を発売しました。

馬鈴しょの世界を広げ、豊かな実りを一緒に喜びたい、そんな気持ちでお届けし ます。



北海道フライドポテトシリーズ

https://www.calbee-potato.co.jp/ products/processed/frenchfries/







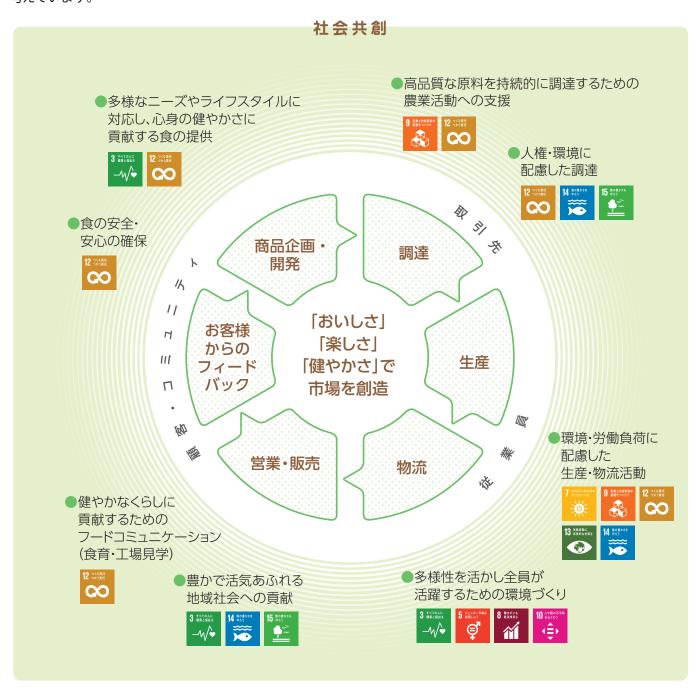
『ポテグラン』



社会共創 ~サステナブル経営による価値創造~

カルビーグループは、中長期的な視点で、地球、地域、社会、経済などの企業を取り巻く環境の変化や課題を捉え、社会との 共創によるサステナブル経営を通じて、新たな価値を創造し続けていきます。

また同時に、ステークホルダーへの価値を提供し、国連が定めるSDGs(持続的な開発目標)の達成につなげていきたいと考えています。



カルビーグループが貢献できる課題





















取組み事例

お客様の声を活用し 商品を多様化

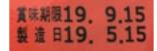
お客様相談室に寄せられた声を全社 で共有し、商品の改善や開発に役立 てています。「通常の『フルグラ』は 甘みが強いので、甘さを抑えた商品 が欲しい」というお客様の声から、 甘くない、香ばしいおいしさが特長 のグラノーラを2019年9月に発売し ました。



ポテトチップスの 嘗味期限を延長

バリューチェーン全体でのフードロ ス削減とお取引先様や売り場での作 業効率改善を目指し、ポテトチップ スの賞味期限の延長および、「年月」 表示への変更を2019年6月1日製造 分から実施しました。

変更前





當味期限2019.11

物流の労働負荷低減への 取組み

深刻なドライバー不足や物流作業の負 荷増加などへの社会課題に対応するた めに、物流部門ではさまざまな施策に 取り組んでいます。

お客様・お取引先様と課題を共有し改 善することで、ドライバーの待機時間 の短縮や付帯作業などが50%削減さ れました。また、京都工場では自動 フォークリフトを導入し、商品の移動 や保管作業の無人化を実現しました。



「工場間一体省エネルギー事業」を協業により推進

当社は、キヤノン株式会社、久光製薬株式会社とともに、東京ガスグループ と協業して、「3万kW級のガスコージェネレーションシステムを中心とす る『清原スマートエネルギーセンター』による工場間一体省エネルギー事 業」に参画し、2019年度内に利用開始予定です。

異業種複数事業所向けに電力と熱(蒸気や温水)を 合わせて供給する「工場間一体省エネルギー事業」 は、国内初の試みとなります。

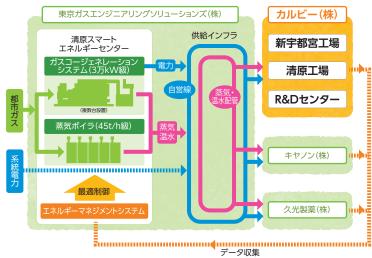
近接する業種の異なる7事業所がエネルギーの供 給システムを共同利用することで、それぞれの事 業所が単独では実現できない規模の環境負荷軽減 が可能となり、約20%の省エネおよびCO₂排出量 の約20%削減※が見込まれます。

さらに、停電時でもエネルギーの安定供給が可 能となり、BCP(事業継続計画)の強化が期待さ れます。

※カルビー、キヤノン、久光製薬の3計が、7事業所において2015年度に排 出したCO₂の3社合計値に対する削減率。約▲23,000t/年。



■ 電力と熱(蒸気や温水)の供給概要図



カルビーグループ財務ハイライト

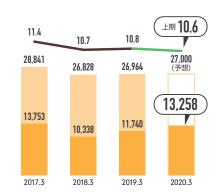
売上高

(単位:百万円)

■上期 ■通期 252,420 251,575 248,655 123,654 118,822 121,067 2017.3 2018.3 2019.3 2020.3

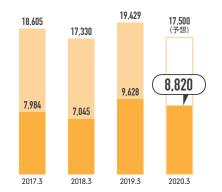
営業利益·営業利益率

■上期 ■通期 営業利益(単位:百万円) -上期 ■通期 営業利益率(単位:%)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円) 上期 ■通期



総資産



純資産



ポイント

売上高は、主に海外事業の拡大により、前年同期比3.5%増となりました。海外事業では、英国での2018年10月の事業買収が増収に貢献したほか、「フルグラ」の積極的な販売活動を行った中華圏において売上が伸長しました。営業利益は、国内事業の原価等のコスト改善や英国の売上拡大等により、前年同期比12.9%増となりました。

カルビー サイトの ご案内

カルビーの情報はここから!



• カルビーソーシャルメディア

https://www.facebook.com/Calbee.JP

https://twitter.com/calbee_jp

https://www.instagram.com/calbee_jp/

https://www.youtube.com/c/Calbee_jp/

http://line.me/ti/p/cQSzrKagk3

カルビーサイト IR情報

https://www.calbee.co.jp/ir/

カルビー IR 検索



企業情報・株式情報

(2019年9月30日現在)

会社概要

社名 カルビー株式会社

本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館22階

設立 1949年4月30日

従業員数 1,759名(連結3,817名)

※臨時従業員は含んでおりません。

役員



代表取締役社長	伊藤	秀二	1
代表取締役副社長	江原	信	2
専務取締役	菊地	耕一	3
※取締役	茂木	友三郎	4
※取締役	高原	豪久	5
※取締役	福島	敦子	6
※取締役	宮内	義彦	7
※取締役	アン・	ツェ	8
*常勤監査役	出村	泰三	9
*監査役	石田	正	10
*監査役	大江	修子	11)

※ 計外取締役 * 計外監查役

株式の状況

176,000,000株	133,929,800株*	26,596名
発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数

※自己株式数882株を含む

所有者別分布状況

証券会社 0.4%-国内法人 個人・その他 外国法人等 金融機関 46.4% 22.3% 16.3% 14.6%

> 自己株式 0.0%-政府及び地方公共団体 0.0%-

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
FRITO-LAY GLOBAL INVESTMENTS B.V.	26,800	20.01
一般社団法人幹の会	20,040	14.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,310	3.97
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託□)	3,253	2.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,019	2.25

(注)1. 持株比率は、自己株式882株を控除して計算しております。

2. 持株比率は、「株式付与ESOP信託□」が所有する67,290株及び「役員報酬BIP信託□」が所有 する186,300株を含めて計算しております。

このたび日本各地で発生した豪雨、台風で被災された 皆様に、心よりお見舞い申しあげますとともに、被災地 の一日も早い復旧、復興をお祈り申しあげます。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号 (電話照会先) 0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の □座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

(電話照会先) 0120-782-031(通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。

(下記の当社ホームページに掲載いたします。)

https://www.calbee.co.jp/

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子 公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行

います。

まだない価値を、つくる。

自然素材は、カルビーの代名詞。 じゃがいもをはじめ大地の恵みをベースに、 独自の製法や斬新な食味の提案で これまでみなさんに親しまれてきました。 いまカルビーは次の数十年を見据えて、 自らの可能性を模索する時を迎えています。 だから、こう考えます。 新たな領域へ、すすもう。 ここぞという時は、リスクもとろう。 「できない」「ありえない」は捨てよう。 逆境やピンチは、チャンスに変えよう。 自然素材の活用に、限界はありません。 次の世界の常識をつくるために。 さぁ、「食」に変革を。

Next Calbee

掘りだそう、自然の力。食の未来をつくりだす。

カルビー株式会社 カルビー 検索 https://www.calbee.co.jp/





